

2023年版

環境経営レポート

(2023年1月1日～2023年12月31日)



mazda

発行日：2024年4月23日

株式会社平和自動車

〒013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字荒小屋東 263

TEL0182-24-1070 FAX0182-24-1072

1. 環境経営方針（インスーパーカーピットを含め全店適用）

《環境理念》

自動車業界は環境問題にも配慮し、自動化や電動化、シェアリングなどの変革期を迎えています。また安全機能も進化を続け、整備技術も高度化しています。しかし国の基幹産業でありながら、人手不足が問題となっております。その中で我が社が生き残るためにも車の高度化に対応した整備技術の向上や設備投資、新たなビジネスチャンスの獲得、人材採用と定着をさせるためにもサステナブル（SDGs）な経済活動を行い、事業活動を通じて環境保全に努め、様々な諸問題にも対応しながら、同業他社との差別化を図り、技術力を高め、環境に配慮した車の販売、整備に努め、持続可能な経営を目指して参ります。

《活動方針》

下記の事項に取り組むことにより「新たなビジネスチャンス」「選ばれ続ける会社」「従業員のやりがい・確保」につなげるよう行動して参ります。

1. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

温室効果ガス排出量の削減を目指して、二酸化炭素（CO²）排出量の削減及び廃棄物の削減に取り組む。

2. 産業と技術革新の基盤をつくろう

自動車技術の進歩にともない整備技術の向上に努め、ビジネスチャンスをつくる。

3. 住み続けられる街づくりを

環境に配慮した自動車の整備を通じて、安全・安心に走行できる住みやすい街づくりに協力し、選ばれる会社をつくっていく。

4. つくる責任 つかう責任

使用済みバッテリーや樹脂バンパーにおいて再生品の回収と販売協力をします。

5. 気候変動に具体的な対策を

環境に配慮した車の販売を積極的に行い、ゼロ・エミッションの実現を目指します。

6. すべての人に健康と福祉を 働きがいも経済成長も

健康経営の実践で社員がやりがいを持ち、元気に働き、働き方改革により生産性の向上に努め、企業の成長を促す。

7. 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表する。

改定日：令和6年4月19日

株式会社平和自動車

代表取締役 小松田 和大

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- 株式会社平和自動車（イオンスーパーカーピット含む）
- 代表取締役 小松田 和大

2-2. 事業の概要

- 自動車の販売（新車・中古車）
- 自動車整備および部品・用品販売
- 損害保険代理店業務

2-3. 所在地と連絡先（担当者）

- 株式会社平和自動車

住 所：〒013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字荒小屋東 263

（連絡先：TEL0182-24-1070 FAX0182-24-1072 Email: mazheiwa@coast.ocn.ne.jp）

イオンスーパーカーピット

住 所：〒013-0063 秋田県横手市大字婦気大堤字中田 4-1

（連絡先：TEL0182-35-0589 FAX0182-35-0650）

- 担当者：環境管理責任者 小松田 和大

2-4. 事業の規模

- 創 業：昭和 49 年 6 月
- 資本金：1000 万円
- 売上高と従業員数：

事業年度	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
売上金額（百万円）	349	384	408	464
従業員数（人）	22	22	22	22

3. 対象範囲と対象取組期間

3-1. 認証・登録範囲

- 自動車の販売と整備ならびに損害保険の取次業務

3-2. 環境活動レポートの対象取組期間

- 2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日

4. 環境目標

4-1. 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の6項目について、環境目標を設定しました。

- 1) 二酸化炭素排出量（必須項目）
- 2) 廃棄物排出量（必須項目）
- 3) 総排水量（必須項目）
- 4) 使用化学物質の削減（業種により必須項目）
- 5) グリーン購入（自主設定項目）
- 6) エコカー及びリサイクル部品の販売、使用（自主設定項目）

4-2. 主な環境負荷の実績

2014年度 当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			廃棄物排出量 (t)		総排水量 (m ³) (水使用量)
電力（排出係数： 0.541）＊	灯油・LPG	ガソリン・軽油	一般廃棄物	産業廃棄物	
45,829	28,470	34,520	2.23	72.7	856

※排出係数は、東北電力の2014年度の係数（0.541 kg - CO₂/kWh）を使用。※インスパーカーレットを含む。

4-3. 環境目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の必須3項目ならびに自主設定項目について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2023年度	2022～2024年度（3年間で）
■二酸化炭素排出量	2014年度同期比8%削減	2014年度同期比7～9%削減
■廃棄物排出量	2014年度同期比8%削減	2014年度同期比7～9%削減
■総排水量（水使用量）	2014年度同期比8%削減	2014年度同期比7～9%削減
■化学物質使用量	現状把握	管理徹底
■グリーン購入	現状把握	購入促進
■エコカー販売	2014年度同期比8%増	2014年度同期比7～9%増
■リサイクル部品	現状把握	販売、使用促進

4－4．2023 年（取組対象期間）環境目標値

4－2．の実績に従って、2014 年度実績値を基に、2023 年の具体的目標値を下記のように算出しました。

	2014 年	2023 年
■二酸化炭素排出量	108,819kg-CO ₂	100,113kg-CO ₂
1) 電力	45,829kg-CO ₂	42,163kg-CO ₂
2) 灯油	28,470kg-CO ₂	26,192kg-CO ₂
3) ガソリン・軽油	34,520kg-CO ₂	31,758kg-CO ₂
■廃棄物排出量	74.9 t	68.948 t
1) 一般廃棄物	2.23 t	2.052 t
2) 産業廃棄物	72.713 t	66.896 t
■総排水量（水使用量）	856 m ³	788m ³
■化学物質使用量	－	現状把握と管理徹底
■グリーン購入	－	現状把握と購入促進
■エコカー販売	98 台	106 台
■リサイクル部品	－	現状把握と販売、使用推進

5. 主な環境活動計画

5－1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

- 接客場所以外の室内推奨温度（冷房時 28℃、暖房時 20℃）に努める
- 電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する
- 昼休み等、不要な照明を消灯する
- 席を離れるときは、PC をスタンバイモードとし、外出時はシャットオフする
- 電気スイッチ付近に節電のステッカーを貼り、意識の徹底を図る

2) 灯油使用量の削減

- 工場内の暖房については、作業に差し支えない程度に温度設定を下げる
- シャッター等の開口部をこまめに閉め、冷気が流入しないように心掛ける
- 温水洗車機の不要な温水を停止する

3) ガソリン・軽油使用量の削減

- エコドライブの徹底
- 車両日報により、走行距離、燃費、オイル交換、空気圧などの整備状況を把握する
- 車両入れ替え時は、エコカーを優先して購入する
- エコ整備、エコ車検を行う

5－2. 廃棄物排出量の削減

- 分別を徹底し、可能な限りリサイクルする
- 不良在庫を減らし、在庫数量の適正化の徹底を図る
- ミスコピーの防止や裏紙の積極的使用をする

5－3. 排水量（水使用量）の削減

- 洗車時や手洗い時など、水を出しっぱなしにしない
- 蛇口への節水コマの取り付けや元バルブの調整
- 手洗い場などへの節水ステッカーの貼り付け

5－4. グリーン購入の推進

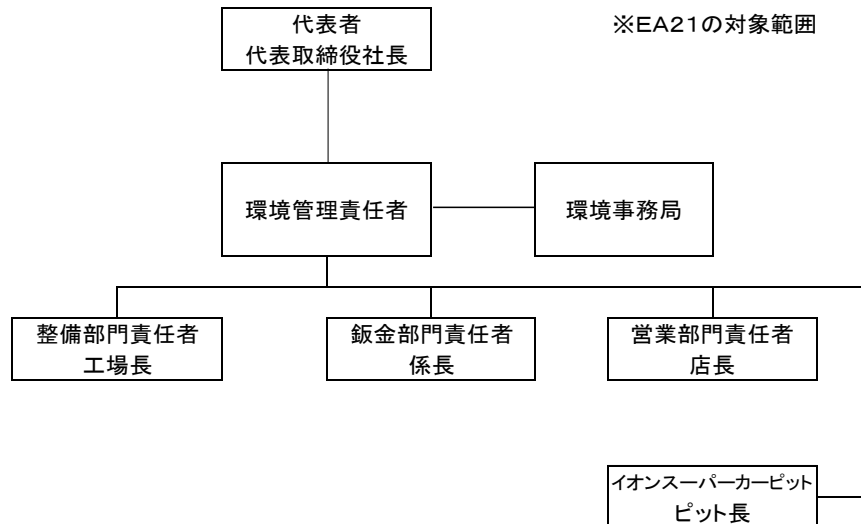
- コピー用紙は再生紙を使用する
- 事務用品等は環境対応商品を購入

5－5. エコカー及びリサイクル部品の販売利用推進

- お客様への説明とPR
- 見積書に価格差を明示し、使用を促す
- リサイクル部品の保証期間を説明する

6. 環境目標の実績（R5. 1～R5. 12）

6-0 EA21実施体制図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・実施体制の構築 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

対象取組期間（１年間）における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

6－１．二酸化炭素排出量（目標：8%削減）

	単位	2014 年実績	2023 年目標	2023 年実績	目標/実績 比率	評価 ※
■二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	108,819	100,113	113,205	88%	△
１）電力	kg-CO ₂	45,829	42,163	50,320	83%	△
２）灯油	kg-CO ₂	28,470	26,192	29,434	88%	△
３）ガソリン・軽油	kg-CO ₂	34,520	31,758	33,451	94%	○

【コメント】

全体的に二酸化炭素排出量が増加傾向にある。整備台数の増加、労働時間の増加、
代車貸し出しの増加などあげられるが、徐々に全照明を LED 照明に変更し、燃費の良い代
車や残業時間の減少に努め、節電節約を継続していく。

※…評価：◎→100%以上、○→90%～90%、△→80%～90%。×→80%以下

6－２．廃棄物排出量（目標：8%削減）

	単位	2014 年実績	2023 年目標	2023 年実績	目標/実績 比率	評価 ※
１）一般廃棄物	t	2.23	2.052	0.723	283%	◎
２）産業廃棄物	t	72.713	66.896	9.726	687%	◎

【コメント】

廃棄物の適正な分別と再資源利用化により大幅な改善ができました。

※…評価：◎→100%以上、○→90%～90%、△→80%～90%。×→80%以下

6－3．総排水量（水使用量）（目標：8%削減）

	単位	2014 年実績	2023 年目標	2023 年実績	目標/実績 比率	評価 ※
■総排水量（水使用量）	m ³	856	788	839	94%	○

【コメント】

なかなか目標値まで排水量を削減できないが、徐々にではあるが節水意識は高まってきているようだ。
水の出しっぱなしは見られなくなった。引き続き節水に努めていく。

6－4．エコカー販売（目標：8%増）

	単位	2014 年実績	2023 年目標	2023 年実績	実績/目標 比率	評価 ※
■エコカー販売	台	98	106	102	96%	○

【コメント】

環境に配慮した製品を引き続き積極的に販売していきます。

6－5．化学物質使用量、グリーン購入・リサイクル部品の促進

	2014 年度実績	2022 年度目標	2022 年度実績	評価 ※
■化学物質使用量	—	現状把握と管理徹底	管理徹底	◎
■グリーン購入	—	現状把握と購入促進	購入促進	◎
■リサイクル部品	—	現状把握と販売、使用推進	販売、使用促進	◎

【コメント】

グリーン購入法適合商品の積極的購入。リサイクル部品の使用促進。化学物質の適正な使用等の啓蒙活動により、環境に配慮した負担の少ない製品の購入・使用ができました。

※…評価：◎→達成できた。○→削減したが目標未達。△→昨年度とほぼ同じ。×→昨年度より増加。

7．環境活動計画の取組結果の評価 ならびに次年度の取組内容

7－1．環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	■接客場所以外の室内推奨温度（冷房時 28℃、暖房時 20℃）に努める	△
		■電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する	△
		■昼休み等、不要な照明を消灯する	○
		■席を離れるときは、PC をスタンバイモード、外出時はシャットオフする	△
		■電気スイッチ付近に節電のステッカーを貼り、意識の徹底を図る	○
	灯油使用量の削減	■工場内の暖房については、作業に差し支えない程度に温度設定を下げる	△
		■シャッター等の開口部をこまめに閉め、冷気が流入しないように心掛ける	○
		■温水洗車機の不要な温水を停止する	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	■エコドライブの徹底	○
		■車両日報により、走行距離、燃費、オイル交換、空気圧などの整備状況を把握する	△
		■車両入れ替え時は、エコカーを優先して購入する	△
		■エコ整備、エコ車検を行う	○
廃棄物排出量の削減		■分別を徹底し、可能な限りリサイクルする	○
		■不良在庫を減らし、在庫数量の適正化の徹底を図る	○
		■ミスコピーの防止や裏紙の積極的使用をする	○
排水量（水使用量）の削減		■洗車時や手洗い時など、水を出しっぱなしにしない	○
		■蛇口への節水コマの取り付けや元バルブの調整	△
		■手洗い場などへの節水ステッカーの貼り付け	○
グリーン購入の推進		■コピー用紙は再生紙を使用する	○
		■事務用品等は環境対応商品を購入	○
エコカー及びリサイクル部品の販売利用促進		■お客様への説明と PR	○
		■見積書に価格差を明示し、使用を促す	○
		■リサイクル部品の保証期間を説明する	○

7-2. 次年度の取組内容（方向性）

LED 照明の全数取替え、リサイクル部品を積極的に活用しそれを見える化しながらお客様にもアピールし環境保全の活動に取り組んでいる会社であることを訴えていく。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 水質汚濁（水質汚濁防止法）・・・違反なし
 - ・ 排出水の水質測定と記録
 - ・ 灯油ホームタンクの管理、漏洩防止
2. 消防法・・・違反なし
 - ・ 危険物の保管管理（届出指定数量以下）
 - ・ 標識、掲示板の設置
3. 労働安全衛生法・・・違反なし
 - ・ 有機溶剤使用による作業環境測定
4. 廃棄物処理法・・・違反なし
 - ・ 収集運搬、処分先との委託契約の締結及び許可証
 - ・ マニフェスト伝票の発行及び返却期限管理
 - ・ 産業廃棄物処理責任者の配置（掲示板の設置）
 - ・ 飛散、流出、悪臭防止
 - ・ 産業廃棄物管理票等交付状況報告

環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、会社創業以来一度もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

結果的には二酸化炭素の排出量や排水量の削減は目標達成できなかったが、整備台数の増加により難しいところはある。業務量が増えることイコール環境保全活動が難しいでは創意工夫が足りない。節電節水などの人の意識で改善できるところはコツコツ継続して取り組み、燃費の良い代車や LED などの設備投資などお金がかかる部分に関しては徐々に交換していく。そのことで環境保全に努めて参りたい。またリサイクル部品の積極的活動を進めていきどれくらい CO2 を削減できたか見える化し、お客様にもアピールをしていく。

自動車業界は 100 年に一度の大変革期といわれている。自動運転車、電動車両化、車のスマホ化、安全性能の高度化など整備技術が高度化しそれによる設備投資も進めなければならない。また、人口減少、少子高齢化社会、保有台数の減少、人手不足、車両の進化による整備需要の減少など自動車整備業界がおかれている現状は厳しいものになってきている。また相次ぐ自動車流通業界などの不正により自動車業界全体が世間の厳しい目にさらされている。

そのような中で生き残るためには、コンプライアンス（法令遵守）を強化し、お客様が安心して車を任せられる店づくりをおこない、信頼関係を築いていく他はない。持続的な成長につながる基盤づくりをしていくためにも自社のリスクとチャンスを把握し、ビジネスチャンスをしっかりとらえて、社員とともに持続発展させていきたい。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、エコアクション21中央事務局のHP（<http://www.ea21.jp/>）でもご覧いただけます。

〒013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字荒小屋東 263

株式会社平和自動車

TEL0182-24-1070 FAX0182-24-1072

Email : mazheiwa@coast.ocn.ne.jp